

一般質問通告者一覧表（9月6日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
1	奥谷 求	<p>1 持続可能な産業構造の構築に向けた戦略的な企業誘致・留置の推進</p> <p>(1) 産業用地の確保や企業誘致・留置・投資促進における方向性と課題点について</p> <p>本市は地方都市の中でも人口が増加し続けている数少ない都市であり、潜在的な成長可能性の高さから、企業立地の候補地や流通・サービス業などにおける魅力的な市場として注目を集めているが、一方で産業用地の確保等について社会・経済的な環境の変化により新たな企業立地や投資促進などに重要な課題も存在する。</p> <p>ア ここ数年、本市への企業立地や新たな投資などの状況はどのように推移しているか、又、それらはどのような分野なのか、それによって新規雇用はどれ位になっているか、それは本市の人口推移にどのような影響を与えているか、合わせて企業立地等に関する問い合わせなどはどのような状況か、見解を伺う。</p> <p>イ 産業活動に必要な水、とりわけ工業用水について、本市への供給や処理など、現段階での状況や、将来的に企業立地や新たな投資が進む中での課題点やその対応策は、どのように考えているのか、方向性など見解を伺う。</p> <p>ウ 本市、志和インターチェンジ付近での産業用地確保などについて、民間活力を活用した取り組みが進められていると思われるが、地元、関係民間業者などの反応や進捗状況、課題点など伺う。</p> <p>エ 本市の産業構造は特定の分野に偏重していると言われており、従来の製造業や流通業を中心とした企業以外にも産業分野・機能にとらわれない国内外からの誘致に取り組んでいるがその状況や成果、課題点など見解を伺う。</p> <p>オ 本市では本年度より、産業用地の候補選定や整備などに関し、庁内に産業部を中心とした部署横断的な推進組織「産業用地整備プロジェクト」チームが設置され、本市への進出を希望される企業などの受け皿になると期待されているが、現在までの取り組み内容や浮き彫りになった課題点など伺う。</p>	市長 副市長 教育長 担当部長	35分
		<p>2 にぎわいと魅力ある都市空間の創出</p> <p>(1) 東広島らしい景観の形成と歴史的、文化的施設などの有効活用について</p> <p>本市には酒蔵通りをはじめ、歴史的、文化的な価値のある地域、施設などが多数存在し、その景観の保全と形成、又それらを活かした新しい発想のまちづくりが進み、にぎわいと魅力ある空間の創出が期待されている。</p> <p>ア 西条酒蔵通り周辺の歴史あるまち並みを守るため、昨年9月、国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に選定申請するために条例が制定され、審議会の設置・開催、エリア決定、地元合意形成などに取り組んでいるが、現段階での進捗状況などを伺う。</p> <p>イ 重伝建対象エリア内の地域住民・地権者との合意形成は、この事業で最も重要な課題であると思うが、暮らしに制約がかかる建築規制など根本的な問題がある中で、住民・地権者が日頃から感じていることや、望ましい将来像を共有し、主体的なまちづくりが出来るような、「重伝建に選定されたら、このようなまちづくりが可能になる」といったメリットの情報提供がより重要なポイントになると感じるが、本市の見解を伺う。</p> <p>ウ 重伝建に選定された場合、文化庁・県からの指導、補助や税制優遇措置を設ける等の支援が得られるとされている。昨年8月の段階で重伝建は、全国で104市町126地区あるが、先進地等の例から、具体的にどのような支援が期待されるか、見解を伺う。</p> <p>エ 本市には、国・県・市の指定文化財等が数多くあり、後世に適切に伝えていくため、維持管理及び公開、活用など行っているが、指定文化財等の保存、維持管理や指定文化財所有者に対する保存修理の助成などに関する課題点や、公開、活用に関して、見学者等はどれ位いるのか、具体的な施設数等所で例示して頂き、合わせて市民の認知度について見解を伺う。</p> <p>オ 歴史的建造物、神社仏閣、城跡など独特な雰囲気を持つ空間をイベントや事業の会場にして特別な体験を届けることができる文化財を活用した「ユニークベニュー」の取り組みが各地で進んでいるが、本市のこの事業に対する認識と評価、取り組み意欲について見解を伺う。</p>		
		<p>3 観光振興のための体制整備と民間活力の活用</p> <p>(1) ディスカパー 東広島と本市の役割</p> <p>本市は観光事業が単独では成り立たず、地域の事業者が本業との兼業で観光の担い手になっている現状がある。地域独自の自然・食などの観光資源を活用したコンテンツの造成や販路開拓など地域や事業者の観光事業参画には、関係団体の支援は必要不可欠であり、観光地域づくりの推進につながる。</p> <p>ア 地域資源を活かした魅力ある観光メニュー等の開発などにおいて、民間活力の活用は施策の幅を広げ、観光産業の育成につながる可能性があると思われる。一方で登録DMOになったディスカパー東広島は、担い手の情報、ノウハウを集約するプラットフォームとなり、地域の特性に応じた観光マネジメントを行い、地域事業者のやる気を引き出しながら、持続的なコンテンツを創出するとされているが、実態として、このような民間事業者との連携はうまくれているのか、あるいはディスカパー東広島内の体制が構築されているのか、本市の認識を伺う。</p> <p>イ 本市の観光振興等について、ディスカパー東広島と本市の役割分担は、どのようにしているのか、例えば、観光庁など国の機関などからの地方に対する観光支援事業などは、その内容の確認や活用検討などは、どちらが担当しているのか、活用しようとする事業がある場合、その判断はどちらに権限があるのかなど観光施策等の決定までのプロセスなど伺う。</p>		
		<p>4 SDGs未来都市の実現</p> <p>(1) SDGs未来都市東広島推進パートナー制度の運用と市民の意識向上、行動変容について</p> <p>「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」を将来都市像としている本市において、この都市像は「誰ひとり取り残さない」「世界基準」というSDGsの理念を前提に策定されたものであり、SDGs推進パートナー制度の運用などを通じて、市民の意識向上、行動変容の推進、企業・団体の活動の促進に取り組まれて</p> <p>ア SDGs未来都市に選定され、2年が経過した。市民・団体等と全市民的展開を目指して、SDGs未来都市推進パートナー制度を構築し、パートナー同士のマッチング・協力事業などを実施しているが、参加団体の推移や事業の内容、又、パートナー同士のマッチング等により化学反応などを起こし、成果につながった事など、課題点も含めて、見解を伺う。</p> <p>イ 市民へのSDGsの理念の浸透、自分ごと化を促し、行動変容につながる取り組みについて、現段階で、どのように評価しているのか、詳細なデータはないかも知れないが、世代別、職業別などに見ると、どのような傾向が表われているか、市民の認知度と課題点、合わせて、今後の取り組みについて方向性を伺う。</p>		

一般質問通告者一覧表（9月6日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
2	大道 博夫	1 本市におけるDX推進	市長 副市長 教育長 担当部長	35分
		(1) 東広島市DX戦略について 本市では今年4月に、第五次東広島市総合計画の実現に向けてDX推進の方針を示した東広島市DX戦略を策定された。具体的には、5つの基本原則のもと、まちづくり大綱5つの柱(仕事づくり・暮らしづくり・人づくり・活力づくり・安心づくり)に掲げる施策の実現に向けて、方針を示されている。		
		ア これまでDX推進本部に対してDX推進監からの連絡・報告はどのような事項があり、どのように検討されたのかお伺いする。		
		イ 本市では課題をどのように掘り起こされ、その中から案件としてプロジェクトを発足されようとしているのかお伺いする。		
		ウ ワーキングチームはいくつ立ち上がり進捗はどのようになっているのかお伺いする。		
		エ 外部監査は何の業務をどのように実施され、指摘事項はどのようなものがあつたのかお伺いする。		
		オ またそれに基づいた内部での他システムへの内部監査は実施される予定はあるのかお伺いする。		
		カ 問題解決能力のある職員の育成はどのように考えておられるのかお伺いする。		
		キ 本場に適性のある人材はDXが具体的に進んでいる他自治体や企業に出向し技術習得する道もあると思うがどのようにお考えかお伺いする。		
		2 地域活動のデジタル化対応		
		(1) 住民自治協議会や自治会へのICT活用支援について 本市では市民活動情報サイトの充実として東広島市市民活動情報サイトすきかもを活用されている。しかしこのツールは住民自治協議会の基本情報とイベント情報を提供するもので、住民自治協議会や自治会の情報共有としては住民自治協議会が独自に構築しなければならない。ICT利用を各住民自治協議会や自治会に任せるのではなく、行政としてICT活用支援策が必要と思		
		ア 住民自治協議会や自治会における、すきかもの利用や個々でのホームページ作成、SNSツールの活用等、ICT活用状態はどのように把握されているのかお伺いする。		
		イ 次に今後コミュニケーションツールの活用支援をどのようにお考えかお伺いする。		
		3 中学校の部活動について		
		(1) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について 文部科学省から令和4年1月28日に通知された「令和3年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果等に係る留意事項について」によると、部活動について部活動指導員の一層の配置促進を図ること、学校以外の主体が実施する部活動の実施について早期に可能である地域や学校においては、令和5年度以降に限らずその実情に応じて適切に対応すること。とある。また、実際文部科学省の外局であるスポーツ庁では令和4年6月6日に運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を出され、文化庁でも、令和4年8月9日文化庁活動の地域移行に関する検討会議の提言が出され、改革の方向性が示さ		
ア 先ず本市の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」、現在の検討スケジュール及び検討状況をお伺いする。				
イ 部活動を外部団体に移行した場合、団体の指導方針・外部指導者の生徒への接し方・保護者の役割等数多くの課題があると思うが、課題と対策についてどのようにお考えかお伺いする。				

一般質問通告者一覧表（9月6日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
3	岡田 育三	<p>1 東広島市の農業振興と有効な土地利用について</p> <p>(1) 本市の農業振興地域整備計画変更（農振除外）の現状について有効な土地利用を行うには、優良農地を確保しつつ、総合的かつ計画的に農業の振興を図るため、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、農業振興地域制度が設けられているが、本市における農振除外における現状を聞く。</p> <p>ア 本市における農業振興地域整備計画変更（農振除外）の申請は、人口増加に伴い、どの様に推移しているのか何う。また県内の自治体中での比較について何う。</p> <p>イ 本年1月に提出された農業振興地域整備計画変更案について異議申出書の提出があり計画全体のスケジュールに最大150日間の遅れが生じるとの事だが、この件に対する市の見解を何う。</p> <p>ウ 農用地区域からの除外決定が遅れる事により、不利益を受ける申請者に対する市としての対応を何う。</p> <p>エ 市として国及び県への改善要望などの考えはないのか何</p> <p>(2) 農地法の改正による新規就農者の加入促進について農業の後継者や担い手が不足する中で、令和4年5月農地法が改正され来年度より農地を取得する下限面積（別段面積）が撤廃される予定と聞くが、その事により新規就農者の加入促進が図られると期待する。</p> <p>ア 現在の県内各市町の下限面積（別段面積）の設定状況について何う。</p> <p>イ 農地を取得する際の下限面積の検討は毎年行われているが、次年度予定の下限面積の撤廃に伴う新規就農者への支援等、新たな施策が必要と考えるが市の見解を何う。</p> <p>(3) 農業を持続させるための再圃場整備についてアグリ研究会は本年7月8日、島根県津和野町の農事組合法人「おくがの村」で再圃場整備による畦畔管理を視察した。本市の農業法人においても後継者不足の観点から再圃場整備を行い、畦畔管理の省力化を要望されている組織があり、早急に対策を考える必要があると考える。</p> <p>ア 令和2年12月の第4回定例会において再圃場整備の質問をしたが、今回執行部も島根県津和野町の「おくがの村」への視察に同行され、直接現地を見て率直に感じられた事を何う。</p> <p>イ 県から再圃場整備を要望されている農業法人の整備計画が示されていると聞くが、市として今後の対応を何う。</p>	市長 副市長 教育長 担当部長	35分
		<p>2 本市の将来を担う子供たちのための安心づくりについて</p> <p>(1) 放課後児童クラブの計画的な整備について市街地の小学校児童の急激な増加に対応するため、学校施設整備及び大規模改修が計画されているが、児童増加に伴う今後の放課後児童クラブの受け入れを危惧する保護者からの声を耳にする。</p> <p>ア 現在の放課後児童クラブ（民間を含む）の利用状況と、待機児童の状況について何う。</p> <p>イ 放課後児童クラブの支援員の充足状況について何う。</p> <p>ウ 市街地の小学校での児童の増加に伴い校舎等の大規模改修を計画されているが、今後放課後児童クラブでの利用児童の増加が予測される中で、今後の計画また方針について市の考えを何う。</p>		

一般質問通告者一覧表（9月6日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
4	景山 浩	<p>1 第五次東広島市総合計画の推進について</p> <p>(1) 計画で目指す将来都市ビジョンについて 「未来に挑戦する自然豊かな学術研究都市」に向けて「世界に貢献するイノベーション創造のまち」と「暮らし輝く生活価値創造のまち」を目標に掲げている。 そのうち生活価値創造に関しては、生活の基盤となる各地域における施策及び事業に力点が置かれるものとする。</p> <p>ア 地域別計画を推進するにあたり、個別の事業では地域事情を考慮しつつ、生活価値創造という点では全体最適を図っていく必要がある。どのように調整しながら事業推進するの か何う。</p> <p>イ 環境及びエネルギーに関する施策のなかで、地域におけるS-TOWNプロジェクトの今後の展開について本市の考えを何う。</p> <p>ウ 食に関する施策では、世界において危機的な状況を迎えているなか、今後地域から取り組んでいく安全な食確保のためにすべき施策及び事業は何であると考えているか何う。</p> <p>エ 本市DX推進体制確立後、2030年までの地域課題解決に向けた各分野の事業推進の具体的スケジュールについて</p> <p>オ 共同体空洞化といわれる今日、地域における共生社会実現の取組みを通じながら、シビックプライド確立に向けて本市の考えている施策について何う。</p>	市長 副市長 教育長 担当部長	35分

一般質問通告者一覧表（9月6日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
5	鈴木 英士	1 妊娠から子育て期における切れ目ない支援体制の構築について	市長 副市長 教育長 担当部長	35分
		(1) アウトリーチ型の子育て支援について		
		近くに相談できる方がいない子育て世帯にとって、特に1人目のこどもを育てる時には不安や負担を感じる事が多いと考える。兵庫県明石市において実施されている「おむつ定期便」等のアウトリーチ型の取組はこのような子育て世帯に有効な手段だと考えるが、市の見解を伺う。		
		ア アウトリーチ型の子育て支援の導入について伺う。		
		イ 子育て世帯のニーズ調査について伺う。		
		2 小学校における児童の放課後生活の充実について		
		(1) 放課後の児童の受け皿について		
		人口や共働き世帯の増加により、一部のいきいきこどもクラブにおいて待機児童が発生しており、学校施設等の活用による柔軟な対応を図る必要があると考える。また放課後子供教室等を含めた事業の充実を図る事で、放課後の児童の受け皿を増やす必要があると考えるが、市の見解を伺う。		
		ア いきいきこどもクラブにおける学校施設等の活用について伺う。		
		イ 今後の放課後の児童の受け皿作りについて伺う。		
		3 生徒指導の充実について		
		(1) 不登校の支援について		
全国的に増加傾向にある不登校の児童・生徒について、本市においてはスペシャルサポートルームやスクールソーシャルワーカーの派遣などの支援策を行っている。それらの支援策の現状や今後どのような支援策を行っていく必要があると考えているのか、市の見解を伺う。				
ア 必要な支援が届いているか伺う。				
イ 今後の支援策について伺う。				